2026年９月３日

各　　位

会 社 名　株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名　代表取締役社長　野　崎　秀　則
（東証スタンダード市場・コード番号２４９８）
問合せ先　取締役統括本部長　橘　　義　規
ＴＥＬ　０３－６３１１－６６４１

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
令和７年度全建賞を受賞
一般国道257号　川上２期バイパス工区　道路改良事業

当社グループの主要な事業会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）が環境調査・工事影響検討等に携わった「一般国道 257 号 川上２期バイパス工区 道路改良事業」が、一般社団法人全日本建設技術協会の令和７年度全建賞を受賞しましたので、お知らせいたします。

【事業概要】

本事業は、岐阜県下呂市馬瀬川上地内において、一般国道257号の線形不良・幅員狭小区間を解消するため、川上岳見トンネルを含む川上２期バイパスを整備したものです。一般国道257号は、静岡県浜松市中央区から岐阜県高山市荘川町に至る幹線道路であり、地域交通を支える重要な路線です。

整備前は、車両のすれ違いや大型車の通行に課題がありましたが、本事業の完成により、大型車通行不能区間の解消、落石危険箇所の回避、地域間交通の円滑化が図られました。また、猛禽類をはじめとする貴重な生物の生息環境に配慮し、環境保全と事業推進の両立が図られました。

【同社の関わり】

同社は、令和２年度において、工事中の猛禽類を対象とした環境調査及び工事影響の検討を実施しました。調査では、繁殖ペアの行動や巣内の雛の状況を確認し、繁殖状況を把握するとともに、調査結果と工事の実施状況を踏まえて学識経験者へのヒアリングを行いました。

これらの調査・検討を通じて、工事が猛禽類の生息環境に与える影響を継続的に確認し、必要な配慮事項を整理しました。その結果、当該年度における工事による猛禽類への影響は軽微であったと取りまとめるなど、環境保全に配慮した事業推進を技術的に支援しました。

全建賞とは

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。昭和28年（1953年）の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

https://www.zenken.com/hypusyou/hyousyou.html

【全建賞審査委員会の評価ポイント】

トンネル建設に先立つ環境調査で確認された猛禽類の生息環境に配慮し、学識経験者の助言を踏まえながら貴重な生物への影響を最小限に抑えて工事を推進したことに加え、トンネル掘削に伴う建設発生土を近隣の盛土区間で有効活用し、複数工区の効率的な事業促進に貢献した点が評価されました。

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL：https://www.oriconsul.com/
統括本部　伊藤・日原・丸山・門司

令和７年度 全建賞（一般枠 道路部門）

□事業名　：一般国道 257 号 川上２期バイパス工区 道路改良事業

□受賞機関：岐阜県下呂土木事務所

□賛助会員：大日本土木㈱、㈱市川工務店、サンコーコンサルタント㈱、八千代エンジニヤリング㈱、㈱ユニオン、㈱ニュージェック、日本工営㈱、㈱オリエンタルコンサルタンツ、㈱エイト日本技術開発、セントラルコンサルタント㈱

□事業概要と評価

トンネル建設に先立つ環境調査で確認された猛禽類の生息環境に配慮し、学識経験者へのヒアリングを実施しながら、貴重生物への影響を最小限に抑えて工事を進めました。また、トンネル掘削に伴う建設発生土を近隣の同路線の盛土区間で有効利用し、複数工区の効率的な事業促進に寄与した点が評価されました。

R6 年 繁殖巣の状況

幼鳥のとまり

幼鳥の飛翔